



55th
Anniversary
おかげさまで55周年

2011年10月 31日

三和ホールディングス株式会社

www.sanwa-hldgs.co.jp

第77期 2012年3月期第2四半期 決算説明資料



目 次

■ はじめに

1. 2011年度第2四半期決算発表にあたり
2. 最近の連結業績推移

■ 2011年度 第2四半期(実績)

3. 決算ハイライト
4. 比較損益計算書
5. 連結売上実績(セクター別)
6. 三和シャッター工業 受注状況
7. 東日本大震災からの復興に向けた対応
8. 営業利益増減要因

■ 2011年度 通期(予想)

9. 外部環境予想
10. 通期予想ハイライト
11. 売上(セクター別)
12. 営業利益増減要因

「予想」に関する注意

当資料に記載されている内容は、様々な前提に基づいたものであり、記載された業績予想、各施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

■ 戦略課題の進捗

13. 構造改革及びTCRの取組み(国内)
14. ODC&WD統合シナジー
15. ODC開閉機事業について
16. NFの構造改革及びTCRの取組み
17. アジア事業の基盤拡充
18. グローバルシナジー

◆ 参考資料

1. 各地域の動向(日本、米国、欧州)
2. 主要経営指標
3. トピックス
4. セクター別連結業績の概要
5. 製品別受注高・売上高(三和SS)
6. 設備投資額と減価償却費(連結)
7. 2011年度ODC業績予想
8. 2011年度NF業績予想

1. 2011年度第2四半期決算発表にあたり

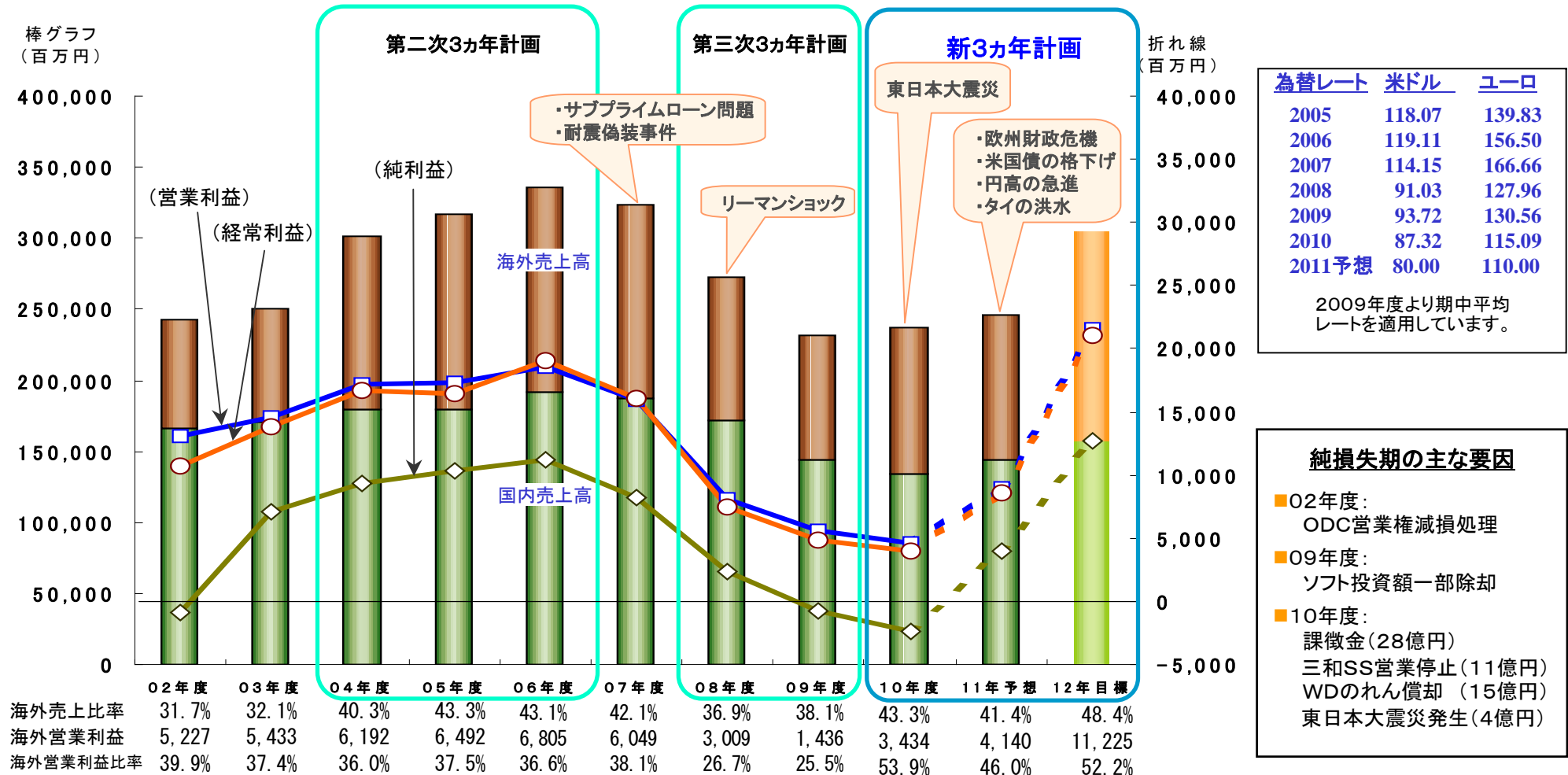
三和グループの使命
安全・安心・快適を提供することにより
社会に貢献します

東日本大震災から半年以上が経ちました。
私たちの使命である「安全・安心・快適を提供することにより社会に貢献する」という言葉の重みを噛み締めながら、スチール建材を通して社会インフラを支える企業として、これからも震災復興のためにグループ一丸となって取り組んでまいります。

三和ホールディングス株式会社

2. 最近の連結業績推移

- 09年度は、国内設備投資及び国内・米国新築住宅着工が歴史的な低水準となり、業績は00年度以来最低水準に
- 10年度は、ウェインダルトン(WD)統合効果が予想以上に貢献し、増収は確保したものの、三和シャッターでの営業停止の影響が大きく、加えてWDのれん単年度償却、多額の課徴金支払により減益、最終赤字に
- 11年度は、国内・欧州で受注回復が顕著となり、米国住宅市場の回復遅れは逆風だが、連結で増収増益の見通し
震災復興へ国内グループの総力を結集し、また海外事業の成長により、新3カ年計画達成に邁進



■ 2011年度 第2四半期（実績）
2011年4月～2011年9月

《第2四半期連結実績》

	上期累計実績	1Q	2Q	期初見通	期初見通比(額)	前年実績	前年比(額)	(率)
売上高	1,107億円 【1,147億円】	465億円	642億円	1,119億円	▲12億円	1,106億円	+1億円 【+41億円】	(+0.1%) 【+3.7%】
営業利益	12億円 【13億円】	▲18億円	30億円	16億円	▲4億円	4億円	+9億円 【+9億円】	(+235.1%) 【+246.2%】
経常利益	11億円 【11億円】	▲19億円	30億円	15億円	▲4億円	1億円	+10億円 【+10億円】	(+1,093.3%) 【+1,136.4%】
当期純利益	1.4億円 【1.5億円】	▲15億円	16.4億円	2億円	▲0.6億円	▲34億円	+36億円 【+36億円】	(+) 【+】

【】内は、10年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したものを。

《上期決算のポイント》

〈要約〉

売上は、各セクターとも増収を確保したものの、米国住宅需要低迷の影響で米国(ODC)は予想比未達。利益は、三和シャッターの大幅増益と欧州(NF)の改善が米国(ODC)の不振を補い、連結では大幅増益となり、第2四半期純利益も黒字に転換した。

売上高

売上は、0.1%(1億円)の微増だが、為替影響を除く実質ベースでは3.7%(41億円)の増収。国内は、3.5%の増収。BMDアは横ばいにとどまるも、重量シャッター等が大きく改善。震災復旧の影響もあり、メンテサービスが大幅増収。米国(ODC)は、+0.7%(現地通貨ベース)の横ばいだが、買収したドアサービス会社を除くと実質減収。自動ドア及び車両ドアを含む商業用は増収となったが、ガレージドアが住宅不況の影響で減収。欧州(NF)は、+10.0%(現地通貨ベース)の大幅増収。独を中心に住宅、産業用ドアともに堅調(受注は売上以上に堅調)。

営業利益

営業利益は、8.7億円の増益(前年の2.4倍)。為替影響を除いた場合は+9億円の増益(+246.2%)であった。国内は、三和シャッターが前年、予想とも大きく上回った。その他国内子会社は三和タジマが大幅悪化し、前年、予想とも下回った。米国(ODC)は、実質減収のうえ、材料費や輸送費高騰の影響を受け、\$6.4百万の大幅減益となった。欧州(NF)は、材料費高騰等により黒字転換はしなかったものの、増収効果により昨年比約1百万ユーロの改善となった。

経常利益

経常利益は、9.7億円の増益。為替影響を除くと+10億円(+1,136.4%)の増益。

当期純利益

第2四半期純利益は、期初予想に届かなかったものの、黒字を確保した。

為替レート	2009/6	2010/6	2011/6
1ドル	95.98	91.02	81.78
1ユーロ	128.33	119.27	116.03

4. 比較損益計算書

(億円)

連結P/L	10年上期累計		11年度1Q		11年度2Q		11年上期累計		前年比
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	1,106	100.0	465	100.0	642	100.0	1,107	100.0	
売上原価	827	74.7	350	75.2	477	74.2	826	74.6	▲0.1%
売上総利益	279	25.3	115	24.8	166	25.8	281	25.4	
販管費	276	24.9	133	28.7	135	21.0	268	24.2	▲7.3億円
営業利益	4	0.3	-18	-3.9	30	4.8	12	1.1	
営業外損益	-3	-	-1	-	-1	-	-1.8	-	+1億円
経常利益	1	0.1	-19	-4.1	30	4.6	11	1.0	
特別損益	-33	-	-2.3	-	-3.3	-	-5.5	-	+27.5億円
当期純利益	-34	-3.1	-15	-3.2	16	2.5	1.4	0.1	

材料費上昇等の悪化要因を
CR等の施策により改善

為替影響 ▲ 7.3億円
のれん ▲ 7.0億円
実質増加 + 7.0億円
(人件費、三和:ソフト償却費、
ODC:販促関連等が増加)

支払利息減少 +1.2億円
持分法投資損益+0.3億円
その他 ▲0.5億円

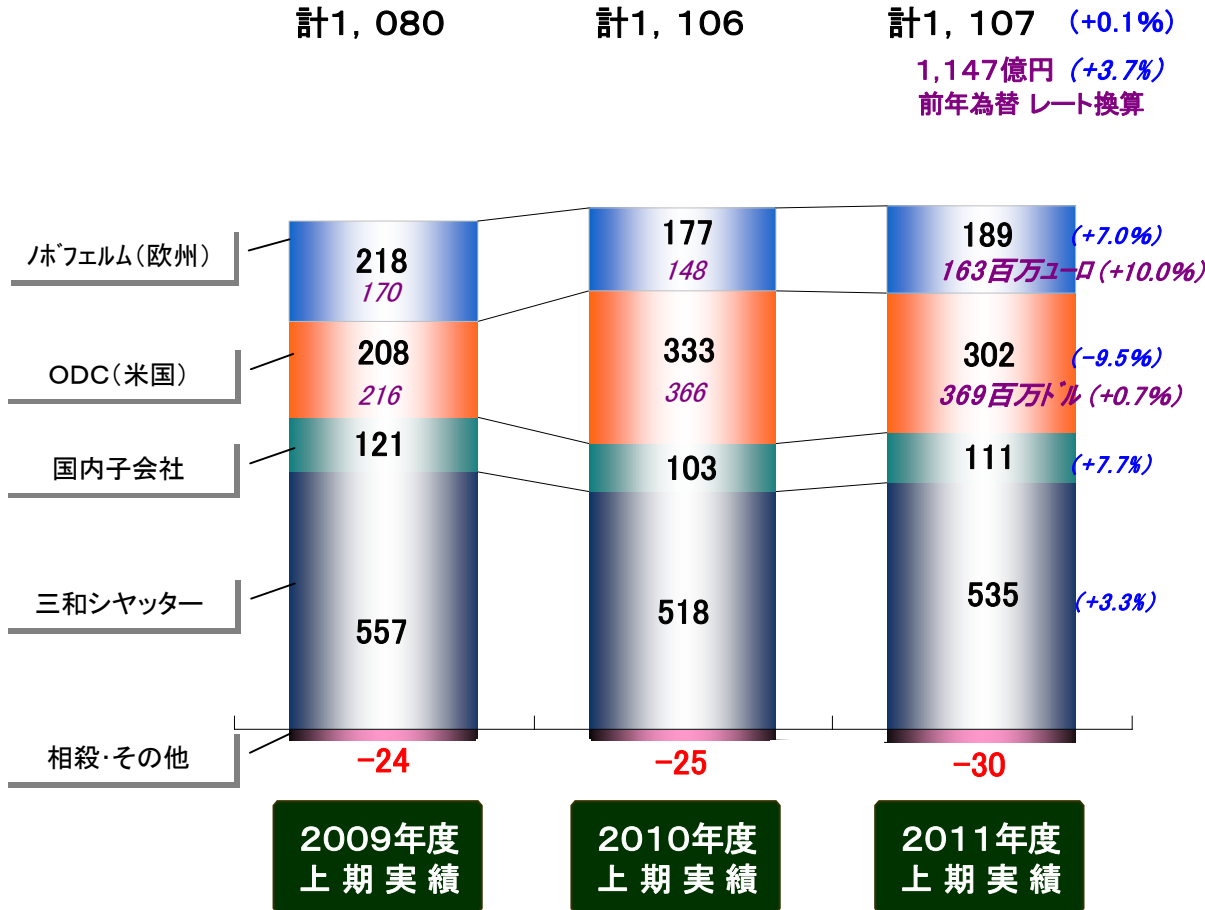
課徴金 +28.2億円
事業再構築 ▲0.3億円
その他 ▲0.4億円
※P30参照

5. 第2四半期連結売上実績(セクター別)

単位

億円 百万ドル 百万ユーロ
(前年増減率)

売上高



※三和シャッターは、同社のみ個別数値
(三和HDは、相殺・その他に含む)

<ノボフェルム(欧州)>

現地通貨で+10.0%の大幅増収

- ① 住宅市場回復効果によりガレージドアは増収(+9.6%)
- ② ヒンジドア事業は住宅・商業用とも増収(+10.1%)
- ③ 設備投資が回復し、産業用ドアも増収(+9.4%)

<ODC(米国)>

現地通貨で+0.7%の微増収

- ① ドア事業は商業用ドアの増収がガレージドアの減収をカバーし切れず減収(▲4.1%)
- ② 開閉機は新型開閉機効果もあり増収確保(+5.0%)
- ③ 自動ドアはドアサービス会社買収効果もあり大幅増収(+33.6%)
- ④ 車両用ドアは運輸業界が回復継続により増収確保(+18.5%)

<国内子会社>

+7.7%の増収

- ① 昭和フロントは市場回復効果で増収(+18.5%)
- ② 沖縄三和(+29.0%)、ベニックス(+25.7%)
- ③ 三和タジマは手持ち物件不足により減収(▲25.1%)

<三和シャッター>

+3.3%の増収

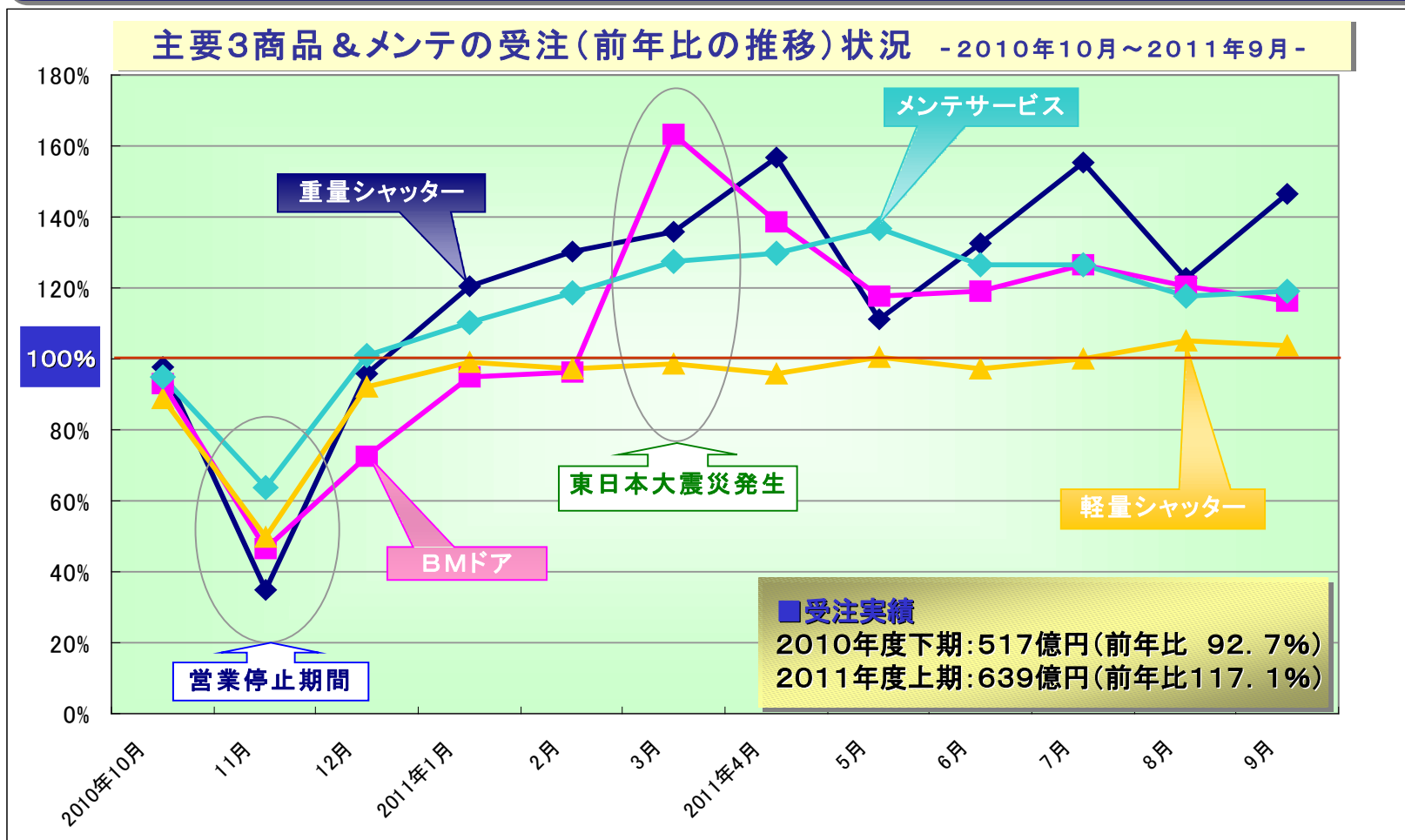
- ① 軽量シャッターはガレージ需要増等で増収(+3.2%)
- ② 重量シャッターは設備投資回復効果等により大幅増収(+17.0%)
- ③ ビル・マンションドアは受注は急回復するも、売上回復は下期以降となる見込み(+0.7%)
- ④ メンテ・サービスは復旧需要もあって大幅増収(+25.3%)

為替レート	2009/6	2010/6	2011/6
1ドル	95.98	91.02	81.78
1ユーロ	128.33	119.27	116.03

6. 三和シャッター工業 受注状況

三和シャッターの受注は、2011年度に入り改善傾向が継続

メンテサービス事業は、震災復旧対応のピークを過ぎた現在も高い水準で推移
 重量シャッター・BMドアなどビル建材商品は、追求中の物件も多数あり、受注は当面拡大が
 続く見込み。したがって、前期営業停止の影響は、11年度には残らない。



7. 東日本大震災からの復興に向けた対応

1. 復興に向けた予測ステップと現状までの進捗について

震災直後

強い揺れにより故障したシャッター等の
点検・応急処置

・全国から施工技術者を投入し、5月中にほぼ対応済み

復興初期（～半年）

シャッター等の修理・取替、仮設住宅へのドア供給

・仮設住宅ドア：約4,500枚供給済み

・修理、取替等：軽量シャッター、仮設ドア等

15億円強の受注（2011年4月～9月）

2. 本格的な復興需要は、今後顕在化してくると予想

中期（～3年）

-- 学校・病院等の再建は比較的早期に始まると見込む

学校、病院、店舗、工場、倉庫、事務所など非住宅分野の着工
軽量シャッター、重量シャッター、オーバースライダー、間仕切などの需要

長期（～5年）

-- 住宅の再建までには相当な時間が掛かると見込む

戸建住宅や集合住宅の着工

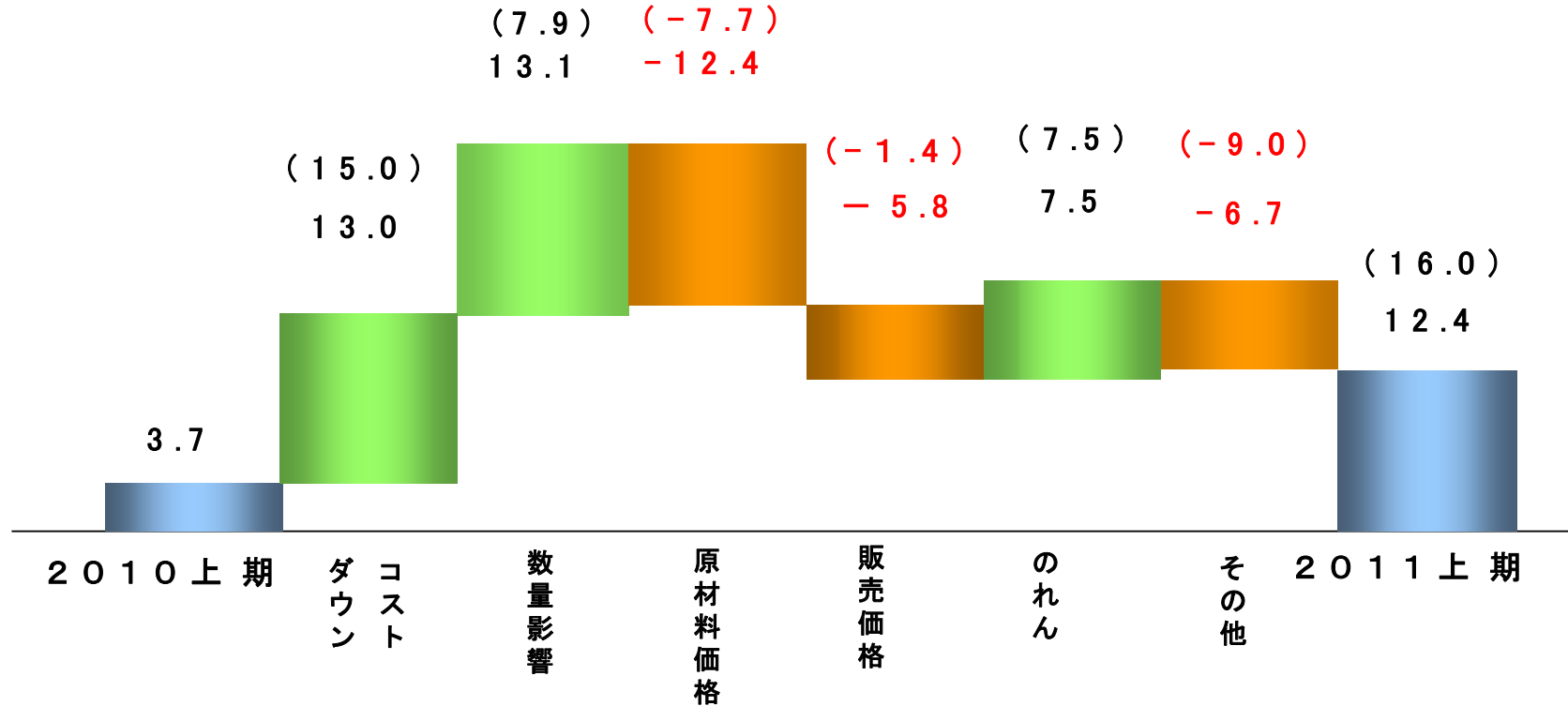
軽量シャッター、ガレージドア、マンションドアなどの需要

8. 営業利益増減要因(連結実績)

三和グループ(連結)

() 内は期初予想

単位：億円



〈期初予想比〉

項目	増減	実績	増減	実績
コストダウン	▲2.0		数量影響	+5.2
三和シャッター	+ 5.1		三和シャッター	+5.6
国内子会社	▲ 5.2		国内子会社	+3.5
ODC(米国)	▲ 1.2		ODC(米国)	▲6.5
NF(欧州)	▲ 0.8		NF(欧州)	+2.5
原材料価格	▲4.7		販売価格	▲4.4
三和シャッター	▲0.7		三和シャッター	▲5.0
国内子会社	+0.0		国内子会社	▲0.1
ODC(米国)	▲1.7		ODC(米国)	+0.1
NF(欧州)	▲2.3		NF(欧州)	+0.7

8. 営業利益増減要因(セクター別)

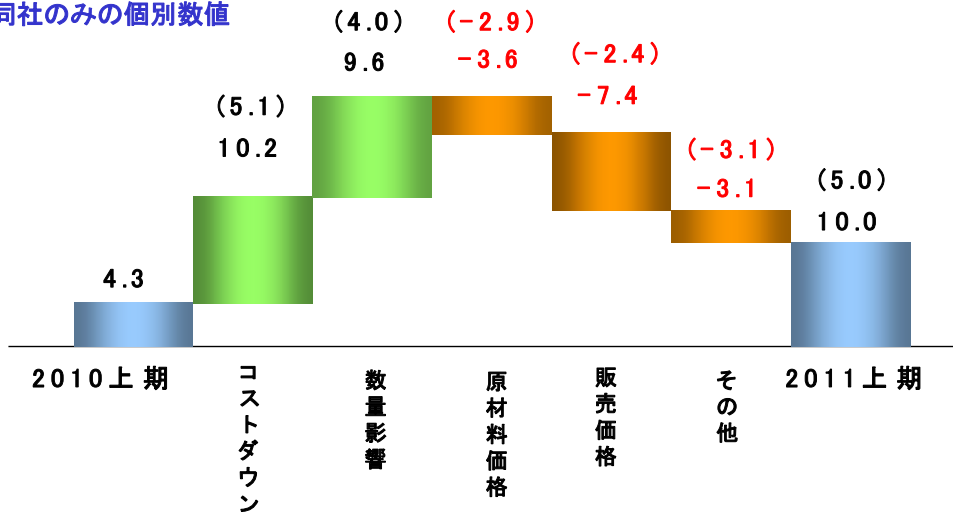
※各セクターには相殺項目があるため合計しても前ページの数値とは一致しません

三和シャッター

※三和シャッターは、
同社みの個別数値

() 内は期初予想

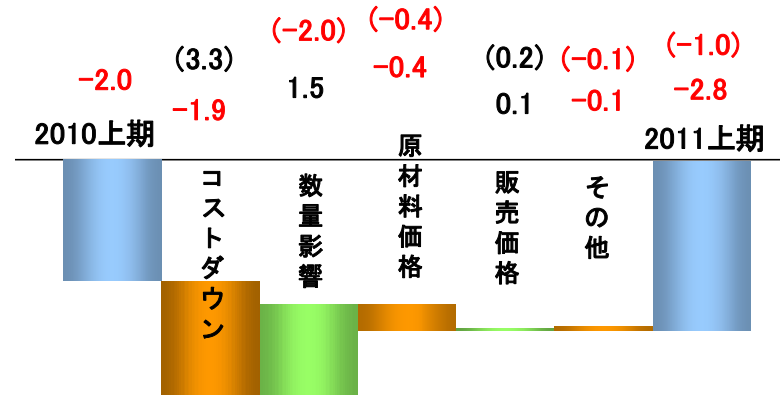
単位：億円



国内子会社

単位：億円

() 内は期初予想

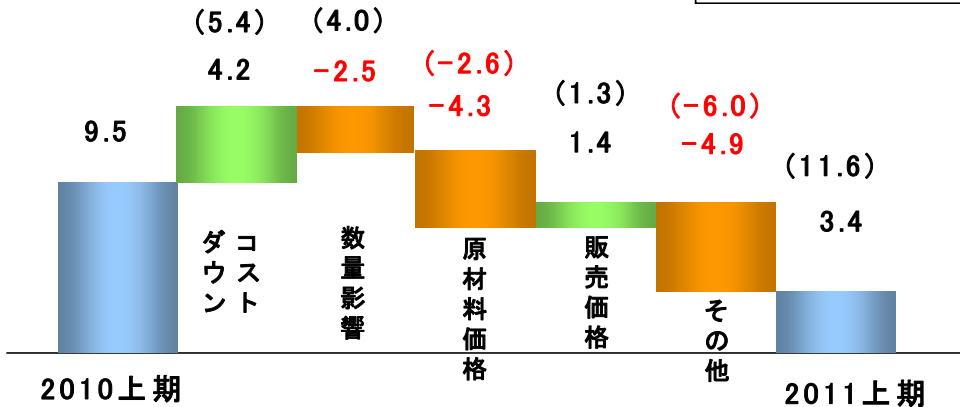


ODC

() 内は期初予想

単位：億円

為替レート(米ドル)	
2010	91.02円
2011	81.78円

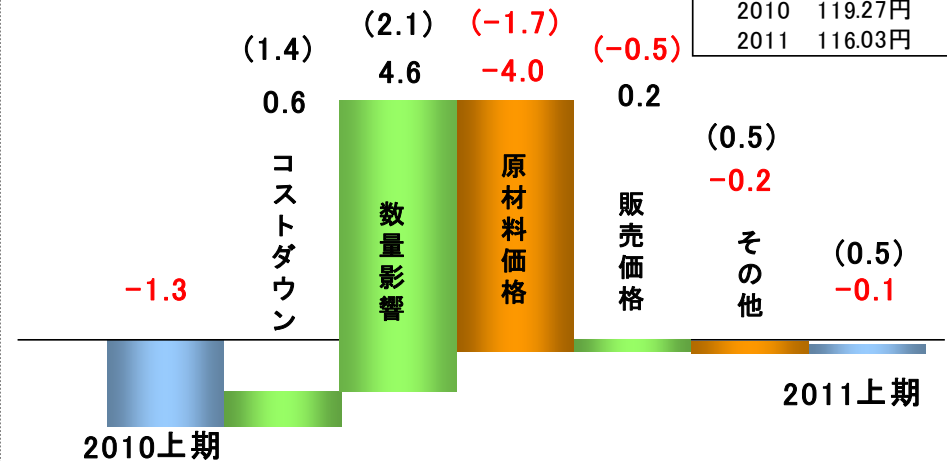


ノボフェルム

() 内は期初予想

単位：億円

為替レート(ユーロ)	
2010	119.27円
2011	116.03円



■ 2011年度 通期(予想)
2011年4月～2012年3月

9. 外部環境予想

■実質GDP成長率

	2007	2008	2009	2010	2011			2012 予想
					上期実績	下期予想	通期予想	
日本	2.4%	-1.2%	-6.3%	2.3%	-0.7%	▲ 1.1%	0.2%	2.1%
米国	1.9%	-0.3%	-3.5%	3.0%	0.7%	▲ 2.5%	1.6%	1.9%
欧州 (ユーロ圏)	3.0%	0.4%	-4.3%	1.8%	2.1%	▼ 1.2%	1.6%	1.1%
ドイツ	3.4%	0.8%	-5.1%	3.6%	3.9%	▼ 1.6%	2.7%	1.3%
中国	14.2%	9.6%	9.2%	10.3%	9.7%	▼ 9.3%	9.5%	9.0%

出典: 内閣府「海外経済データ2011.9」、日米の2010-12予想はニッセイ基礎研究所、それ以外はIMF「World Economic Outlook」2011.09による
 ※上期実績は年度換算値、暦年ベース

▲▼は上期実績と比較して下期をどのように予想しているかを示す

＜外部環境の状況＞

- ・国内は、住宅・非住宅とも上向き
- ・米国は、住宅市場が長期低迷
- ・欧州(ドイツ)は、住宅・非住宅ともやや弱含み
- ・中国は高い水準を維持

■建設環境

		2007	2008	2009	2010	2011							
						予想	期初予想						
日本 住宅着工戸数	千戸	1,036	-19.4%	1,039	0.3%	775	-25.4%	819	5.6%	872	▲ 6.4%	852	4.0%
日本 非住宅着工床面積	千㎡	57,865	-12.2%	53,454	-7.6%	34,859	-34.8%	37,403	7.3%	39,537	▲ 5.7%	39,131	4.6%
日本 民間企業設備投資	10億円	87,788	0.8%	81,757	-6.9%	70,615	-13.6%	73,580	4.2%	73,654	▼ 0.1%	76,441	3.9%
米国 住宅着工戸数	千戸	1,355	-24.8%	906	-33.2%	554	-38.8%	587	6.0%	600	▼ 2.2%	630	7.3%
米国 非住宅着工床面積	百万Sq Ft	1,534	0.3%	1,381	-10.0%	917	-33.6%	510	-44.4%	459	▼ 10.0%	481	-5.7%
米国 設備投資	10億ドル	1,550	6.5%	1,538	-0.8%	1,263	-17.8%	1,319	4.4%	1,417	▼ 7.4%	1,462	10.8%
欧州 住宅完工戸数 (独仏伊蘭)	千戸	996	-1.4%	932	-6.4%	821	-12.0%	707	-13.8%	715	▶ 1.1%	719	1.7%
欧州 非住宅建物投資 (独仏伊蘭)	百万ユーロ	105,938	7.0%	107,818	1.8%	97,918	-9.2%	88,771	-9.3%	87,812	▼ 1.1%	88,283	-0.5%
ドイツ 住宅完工戸数	千戸	185	-16.0%	152	-17.9%	137	-10.3%	145	6.2%	160	▼ 10.3%	166	14.5%
ドイツ 非住宅建物投資	百万ユーロ	30,763	8.1%	33,163	7.8%	32,267	-2.7%	32,783	1.6%	32,947	▼ 0.5%	33,325	1.7%

※出典: (日)建設経済研究所2011.10、(米)Blue Chip Economic Indicators2011.08、(欧)Euroconstruct2011.06による。日米の2011設備投資予想はニッセイ基礎研究所

※日本は年度ベース(4-3月)、米欧は暦年ベース(1-12月)

※2010年の実績が修正されたため、2011年期初予想の年率は期初発表のものと異なる

▲▼は最新予想を期初予想と比較してどのように見ているかを示す

為替レート	2009	2010	2011予想
1ドル	93.72	87.32	80.00
1ユーロ	130.56	115.09	110.00

《2011年度通期予想》

	通期予想	期初予想	期初予想比	上期実績	下期予想	前年実績	前年比(額)	前年比(率)
売上高	2,455億円 【2,531億円】	2,504億円	▲49億円	1,107億円	1,348億円	2,373億円	+82億円 【+158億円】	(+3.5%) 【6.7%】
営業利益	90億円 【93億円】	100億円	▲10億円	12億円	78億円	46億円	+44億円 【+48億円】	(+97.3%) 【+104.5%】
経常利益	86億円 【89億円】	97億円	▲11億円	11億円	75億円	40億円	+46億円 【+49億円】	(+113.2%) 【+120.9%】
当期純利益	40億円 【41億円】	45億円	▲5億円	1.4億円	38.6億円	▲24億円	+64億円 【+65億円】	(+) 【+】

《通期予想のポイント》

【 】内は10年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したもの。

〈要約〉

売上は、大幅増収を見込むが、米国の建設不況と円高影響で期初予想は下回る。利益は、三和シャッターが期初予想を上回ることや、前期ののれん償却と営業停止影響がなくなることにより大幅増益を見込むが、米国住宅市場の改善遅れによるODCの増益不足と、急激な円高により期初予想を下回る。

売上高

連結で3.5%（為替変動を除いた実質ベースで6.7%）の増収を見込む。
国内は、6.9%の増収。震災影響によるシャッター修理等の増加、設備投資回復によるビル建材商品の増加等を見込む。
米国(ODC)は、ガレージドアの回復が遅れているが、買収したドアサービス会社の寄与、車両用ドア等非住宅用ドアは引き続き堅調に推移し、4.2%（現地通貨ベース）の増収。
欧州(NF)は、ガレージドア、住宅・産業用ドアが回復しており、通期で10.6%（現地通貨ベース）の増収を見込む。

営業利益

連結で+97.3%の+44億円（為替変動を除いた実質ベースでは+48億円（104.5%））の大幅増益を見込む。
国内は、24億円（99.1%）の大幅増益。三和シャッターは前期営業停止影響（▲11億円）の回復と増収効果を見込む。
国内子会社は三和タジマの手持ち採算が回復せず減益。米国(ODC)は引続きドア会社の統合効果（\$12百万）が見込める為、住宅市場の回復遅れ等のマイナス要因があるが\$5.7百万の増益（17.5%）。欧州(NF)は、住宅・産業用ドアの回復による増収効果により4.7百万ユーロ（88.3%）の増益に。前期ののれん償却負担（▲15億円）の解消も増益要因。

経常利益

前年比+113.2%の+46億円（為替変動を除いた実質ベースでは+49億円）の大幅増益。営業利益の回復が主要因。

当期純利益

前期は公取課徴金（▲28億円）の影響で赤字となったが、今期は+64億円（為替変動を除いた実質ベースでは+65億円）の増益を見込み、40億円の黒字に。（NFは3期ぶりに最終黒字へ）

一株純利益

16.6円

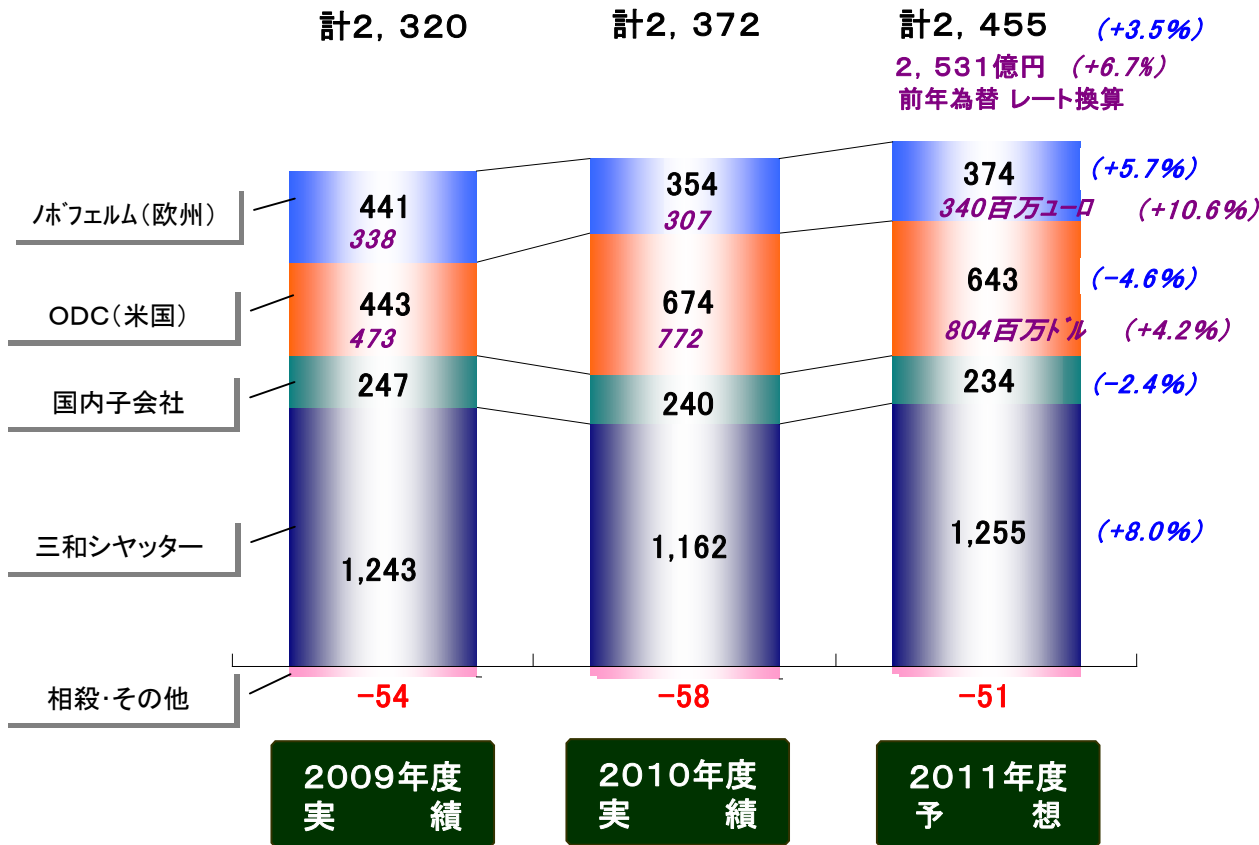
為替レート	2009	2010	2011予想
1ドル	93.72	87.32	80.00
1ユーロ	130.56	115.09	110.00

11. 2011年度売上(セクター別)予想

単位

億円 百万ドル 百万ユーロ
(前年増減率)

売上高



11年度は、国内間仕切・自動ドア事業再編による移管後の予想。

※三和シャッターは、同社のみの個別数値（三和HDは、相殺・その他に含む）

<ノボフェルム(欧州)>

現地通貨+10.6%の大幅増収見込

- ① 住宅市場(ガレージドア)は回復継続
- ② ドイツを中心に、商業用・産業用ドアも回復
- ③ 金融危機の影響は今期中の発現はないと見込む

<ODC(米国)>

現地通貨+4.2%の増収見込

- ① 住宅市場回復が遅れており、ガレージドアは減収を見込む
- ② 開閉機事業は期初予想は下回るが増収
- ③ 自動ドアは買収したドアサービス会社の寄与もあり大幅増収
- ④ 車両用ドアは引き続き回復が続く、前年比大幅増収を見込む

<国内子会社>

+2.1%の増収、但し事業再編により

▲2.4%の減収見込

- ① 三和タジマは受注残減少により大幅減収見込み
- ② 昭和フロント、沖縄三和は非住宅用建設投資が回復しているため増収を見込む
- ③ ベニックスは販売部門を三和シャッターに移管(10.7億円)の為減収

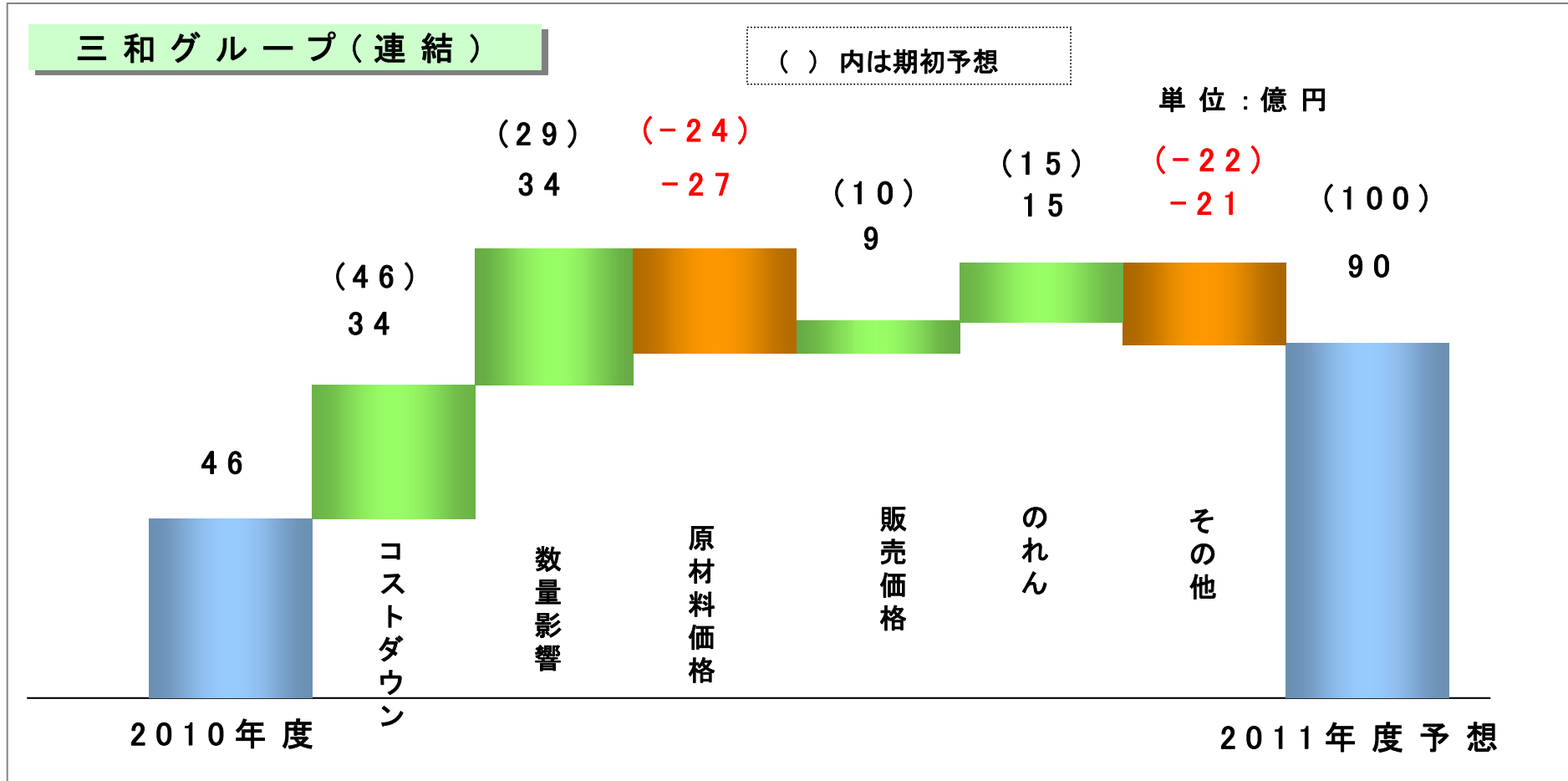
<三和シャッター>

+8.0%の増収見込(移管分18億円含む)

- ① 軽量シャッターは営業停止の影響がなくなり増収を見込む
- ② 重量シャッターは建設需要の回復を見込み増収
- ③ ビルマンションドアはマンション市場回復により増収の見込み
- ④ メンテサービスは震災の影響に伴う修理の増加もあり大幅増収を見込む

為替レート	2009	2010	2011予想
1ドル	93.72	87.32	80.00
1ユーロ	130.56	115.09	110.00

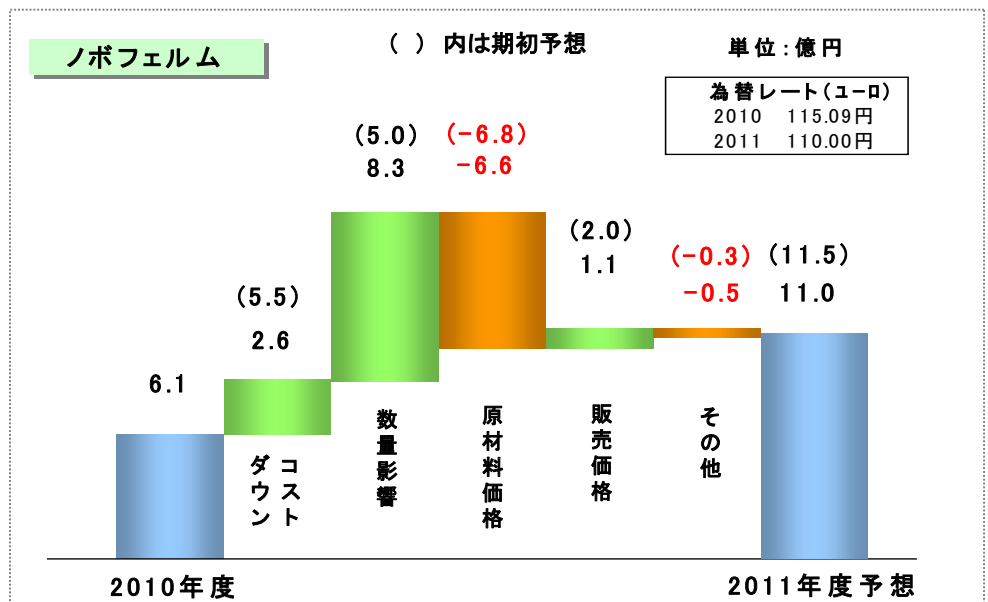
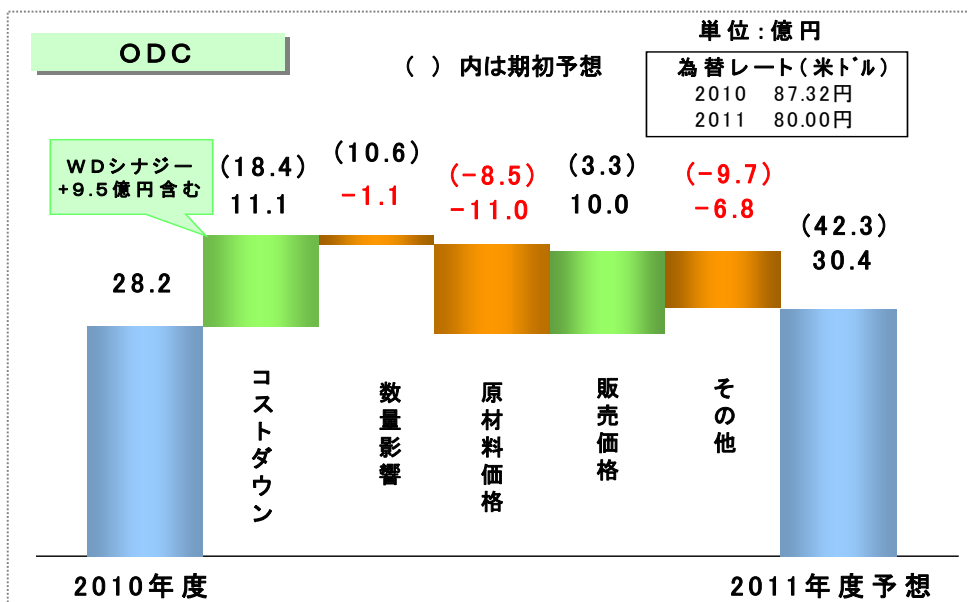
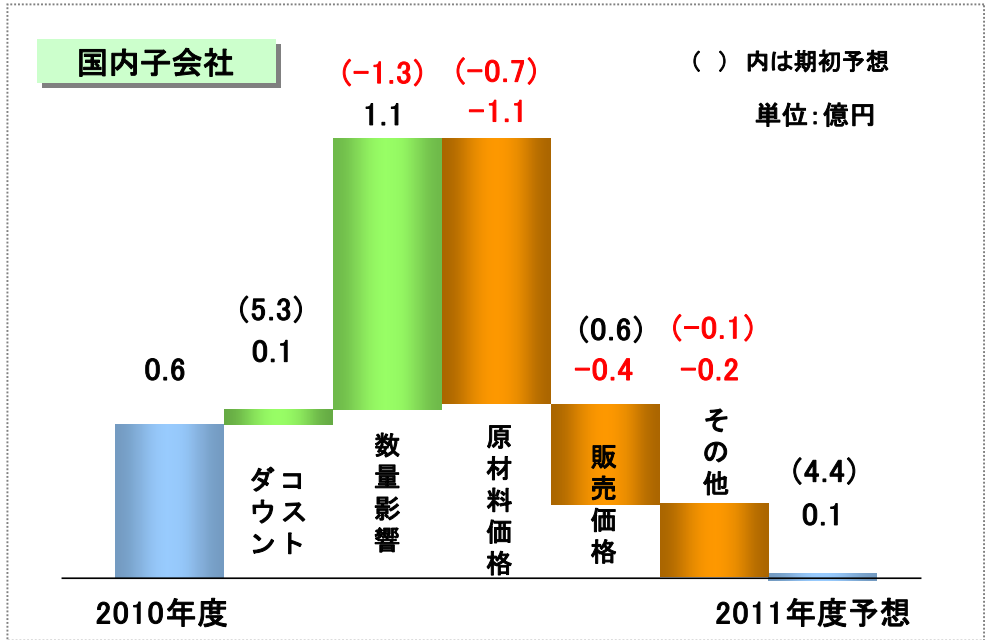
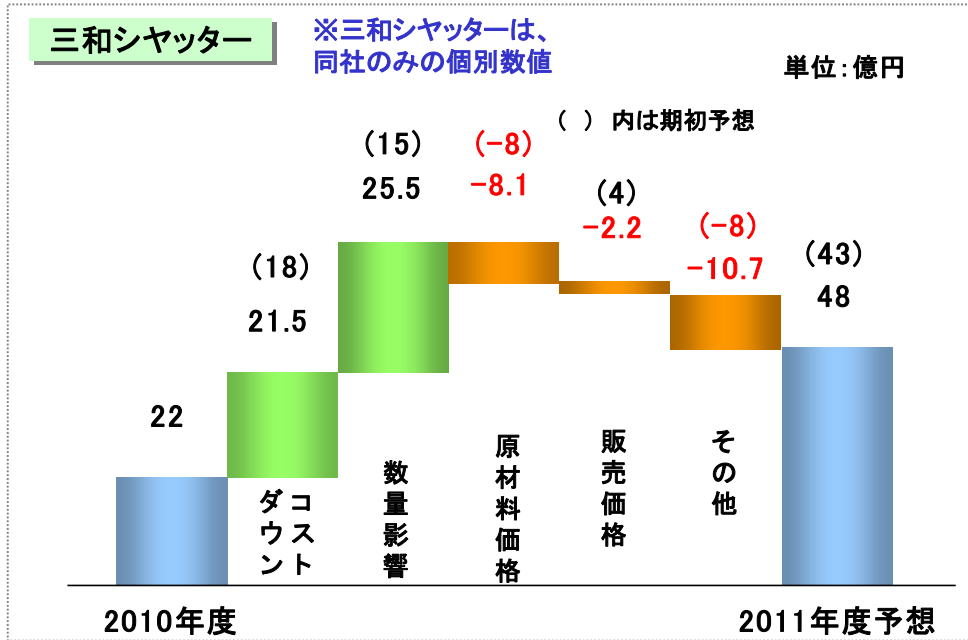
12. 営業利益増減要因(連結)



〈期初予想比〉	コストダウン	▲12	数量影響	+5	原材料価格	▲3	販売価格	▲1
	三和シャッター	+3.5	三和シャッター	+10.5	三和シャッター	▲0.1	三和シャッター	▲6.2
	国内子会社	▲5.2	国内子会社	+2.4	国内子会社	▲0.4	国内子会社	▲1.0
	ODC(米国)	▲7.3	ODC(米国)	▲11.7	ODC(米国)	▲2.5	ODC(米国)	+6.7
	NF(欧州)	▲2.9	NF(欧州)	+3.3	NF(欧州)	+0.2	NF(欧州)	▲0.9

12. 営業利益増減要因(セクター別)

※各セクターには相殺項目があるため合計しても前ページの数値とは一致しません



■ 戦略課題の進捗

13. 構造改革及びTCRの取組み(国内)

◆国内事業

(百万円)

	実施項目	09年度実績	10年度実績	11年度		
				上期実績	通期予想	期初予想
TCR	工場ものづくり再構築 商品別CR(仕様改善、部材購入CR)					
	TCR計	400	1,320	616	1,100	1,100
固定費	人件費(残業時間削減等) 販売管理費(広告宣伝費、支払手数料削減等)					
	固定費計	2,650	1,030	-100	100	235
構造改革	要員管理 施工体制の再構築 設計部門の構造改革 生産物流拠点の見直し 不採算事業の再構築他					
	構造改革計	1,165	1,353	503	950	429
三和シャッター工業計		4,215	3,703	1,019	2,150	1,764
国内会社計(TCR + 固定費 + 構造改革)		530	289	-190	10	530
三和シャッター + 国内会社合計額		4,745	3,992	829	2,160	2,294



三和シャッターのコスト削減は、期初予想を上回る見込み！

国内事業は、多品種化の推進をテーマに構造改革を継続中！

- ・間仕切事業と自動ドア事業の販売部門を三和シャッターへ統合
- ・三和シャッターでは統括営業所課を設置し、各商品のエリア総需要の把握と受注確保へ取組み中



14. ODC & WD 統合シナジー

◆ ODC (米国)

(千ドル)

	10年度	11年度		
	通期実績	上期実績	通期予想	期初予想
販売拠点の見直し	1,165	1,028	1,500	1,000
米国内ドア工場の最適化	779	857	2,000	6,000
購買・調達	8,787	3,423	6,000	5,000
輸送合理化	1,661	763	1,000	1,000
その他(人事・IT・開閉機など)	878	365	1,400	2,000
	(11.6億円)	(5.2億円)	(9.5億円)	(12.5億円)
合計	13,270	6,436	11,900	15,000

(注) 今回より上記統合シナジーから、『販売シナジー(主に開閉機)』を外しています。



◆ 進捗報告

- ・統合作業は概ね順調に推移し、購買等は予想を上積み
- ・工場間のシステム統合を先行させるため、工場最適化計画を次年度へ延期したがって、通期予想合計を期初予想から \$ 3百万減額



為替レート	2009	2010	2011予想
1ドル	93.72	87.32	80.00
1ユーロ	130.56	115.09	110.00

15. ODC開閉機事業について

◆ODC(米国)開閉機事業について

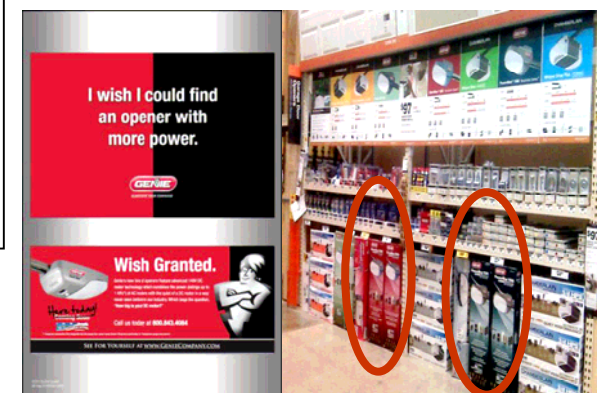
新型開閉機(住宅用)動向について

千ドル

		10年度	11年度		
		実績	上期実績	通期予想	期初予想
売上高	(新型開閉機)	(433)	(8,952)	(40,465)	(62,000)
	住宅用合計	88,007	42,859	94,500	110,000
住宅用開閉機シェア		32%	↗ 33%	↗ 33%	↗ 35%



販売動向	<ul style="list-style-type: none"> ■ シェアは1ポイント以上伸ばしたものの、住宅市場の回復遅れにより数量が期初見込みどおり伸長していない ■ ディーラー向けは、期初の悪天候の影響があるものの徐々に上向いている ■ リテール向けの新型開閉機への切替は、顧客ニーズに合わせ、一斉切替あるいは暫時切替で対応している。
販売施策	<ul style="list-style-type: none"> ■ 縦型パッケージで販売面積の効率化(リテール向け) ■ インターネットによるダイレクトマーケティングの活用 ■ プロユーザー向けに各種ポスターを作成し認知度アップを展開中



16. NFの構造改革及びTCRの取組み

◆NF(ノボフェルム)



単位：千ユーロ

実施項目		09年度実績	10年度実績	11年度		
				上期実績	通期予想	期初予想
NFプロジェクト	物流プロジェクト	1,400	3,200	1,065	2,200	2,200
	ドイツ販売網の整備					
	ドア・フレーム収益改善					
	産業用ドアコスト削減					
	NFドアプロジェクト					
その他TCR (人件費、管理費削減など)		6,400	4,700	-589	200	2,600
コストダウン合計		(10.2億円) 7,800	(8.5億円) 7,900	(0.6億円) 476	(2.6億円) 2,400	(5.5億円) 4,800

為替レート	2009	2010	2011予想
1ドル	93.72	87.32	80.00
1ユーロ	130.56	115.09	110.00

17. アジア事業の基盤拡充

◆アジア主要4社

	09年度実績	10年度実績	11年度		
			上期実績	通期予想	期初予想
売上高	23億円	26億円	12.5億円	34億円	40億円
営業利益	0億円	0.1億円	▲0.7億円	0.1億円	2.8億円

アジア事業全体では売上・利益とも期初予想を下回る見込み

- ・宝産三和:前年比大幅増収増益
- ・NF上海:増収だが、利益横ばい
- ・安和金属:売上微減、利益大幅減益
- ・ビナサンワ:大幅増収、利益改善

上海宝産三和



- ・上期は受注、売上、営業利益とも前年比で大幅改善
- ・上海／長江デルタ地区以外の沿岸大都市への営業領域拡大、メンテナンス網拡大中
- ・宝産製鉄の広東省湛江製鉄所新規プロジェクト着工に伴い、受注活動注力中



NF 上海



- ・昨年8月に取得した防火ドアライセンス取得効果の発現が本格化、上期は受注、売上とも前年比大幅増加。利益は生産ライン拡張費用等があり未達。月産4千セットの生産体制確立へ
- ・金融引締めにより住宅市場がやや減速する中、医療施設等に注力



安和金属

(台湾)

- ・受注は大幅増加。売上、利益については贅沢税の導入の影響もあり、工事遅延が多発し、上半期は大幅減収減益に
- ・高雄、台南の販路拡大、新製品開発に注力中



ビナサンワ

(ベトナム)



- ・上期は受注、売上、営業利益とも前年比で増加したが、計画には未達
- ・受注、売上の更なる増加・拡大に向けた営業、設計、施工等社内体制を整備中
- ・年央あたりから金融引締めの影響によるプロジェクトの延期が出ている
- ・下期は営業利益改善を見込む



18. グローバルシナジー



◆グローバルシナジー進捗

概ね期初予想に沿って進捗！

区分	取組みテーマ(一部)	09年度実績	10年度実績	11年度	
				通期予想	期初予想
開発・生産技術 マーケティング・貿易	<ul style="list-style-type: none"> ・シャッター、ドアの電装部品の共有化 ・日系企業の海外案件受注支援 ・グループ会社製品の各地域での生産販売 (下記参照) 	1.0億円	1.3億円	3.4億円	3.8億円
調達関係	<ul style="list-style-type: none"> ・中国製開閉機、部材の購入 ・グループサプライチェーン構築 	10.4億円	5.2億円	5.3億円	5.3億円
	合計	11.4億円	6.5億円	8.7億円	9.1億円

※上記実績金額は、各グループ会社のTCR効果等に含まれる。

《製品相互供給 取組状況》

発売したもの

1. 三和シャッターのカーポートをNFオランダとNFフランスで発売
2. 三和シャッターのスムードの機構を活用し、ホートン(米国)で新型引き戸を発売
3. NFがWDのガレージドアをドイツ国内のホームセンターで発売開始 **NEW**

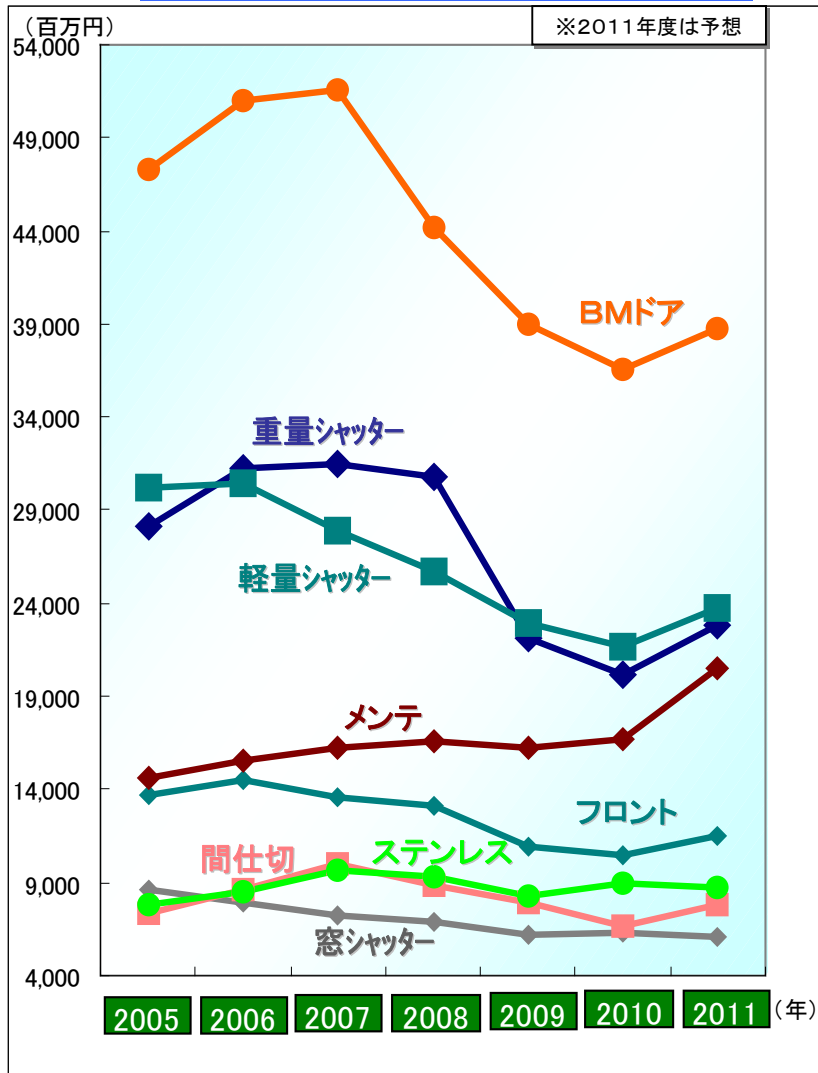
検討中のもの

1. 三和シャッターがWDのガレージドアを日本へ輸入 **近日発売予定**
2. WDヨーロッパがガレージドア開閉機をNF製に変更 **近日切替予定**
3. ジニー製ガレージドア用の新型開閉機を日本へ輸入(2012年を予定)
4. 三和シャッターの防火スクリーンを米国で製造・販売

■ 参考資料

参考資料1. 各地域の動向(国内)

主要商品売上高推移



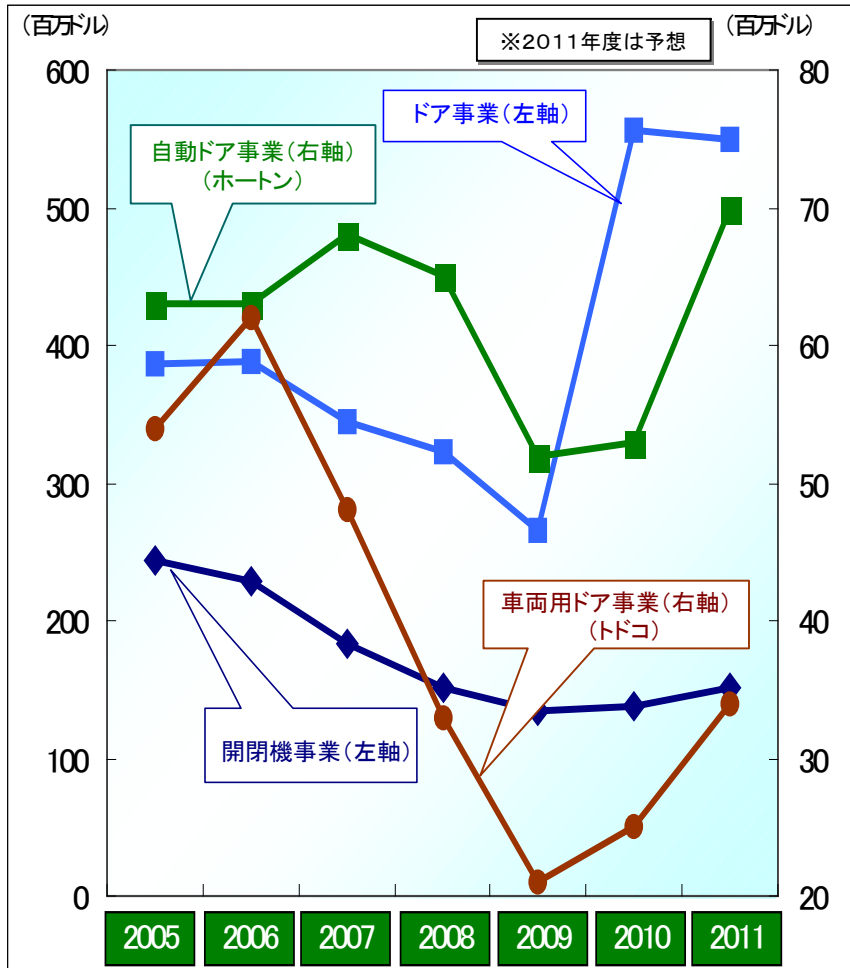
《国内連結》

	2011年度
軽量シャッター	徹底した顧客営業によるシェア拡大や、ガレージや店舗など用途別の商品戦略を推進し、増収を見込む
重量シャッター	設備投資の緩やかな回復に伴い、工場・倉庫等の着工床面積が回復傾向にあり、大幅増収
ビルマンションドア	マンション着工の回復と医療福祉施設の好調持続により増収。受注が大幅に改善しているが、売上の本格回復は来期以降
窓シャッター	震災による住宅建設延期および一部特定ユーザーとの取引減少などがあり、減収見込み
間仕切	設備投資の回復およびグループ内販売組織改編による効率化追求により増収を見込む
ステンレス	三和シャッター、沖縄三和は順調に回復しているものの、手持ちが大きく減少した三和タジマの大幅減収が影響して、減収を見込む
フロント	商業用の建設投資改善および昭和フロントの新商品であるフロント組込型LEDサインの受注拡大により、増収を見込む
メンテ・サービス	震災復旧対応により上期は大幅増収。法人対応および1000円点検など引き続きストック需要の掘り起こしを行い、通期も大幅増収を見込む



参考資料1. 各地域の動向(ODC:米国)

事業別売上高推移

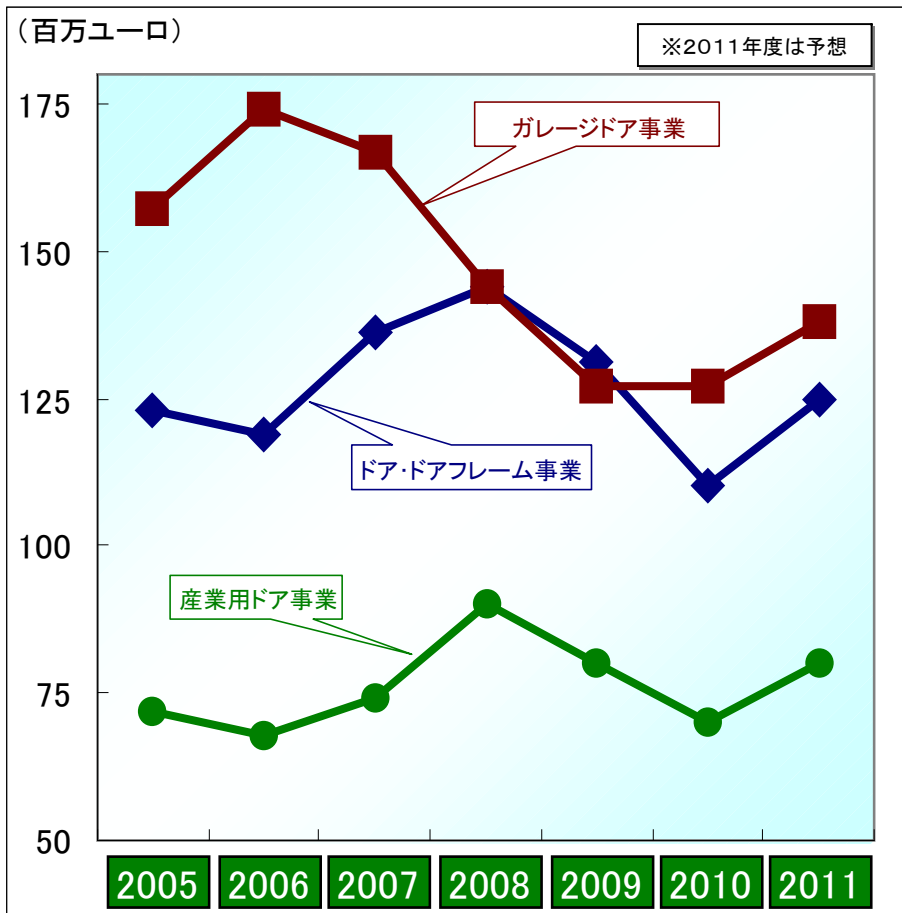


		2011年度
ASD	ガレージドア	住宅着工低迷、価格競争の激化、更には年初の天候不順等の悪条件が重なり、上期は減収となった。引き続き改築市場の需要取り込みに注力するものの、通期でも減収の見込み
	商業用ドア	上期実績は増収。倉庫等の新築需要は伸び悩むも、設計事務所等への積極的な折込活動等の販売促進、価格値上げにより増収となる見込み
Genie	開閉機	主力の住宅用については、住宅市場低迷の影響を受けているが、新型開閉機の発売効果、WDチャネルの競合機種からの切替え等により増収を見込む 商業用は、汎用機種の販売が好調で増収となる見込み
Horton	自動ドア (ホートン)	買収したドアサービス会社の効果および得意分野の病院・ヘルスケア市場への積極的な新製品の投入や設計折込活動等により大幅な増収となる見込み
TODCO	車両用ドア (トドコ)	輸送業界は好調を持続しており、トレーラーメーカーの受注残高も高水準となっているので、大幅な増収を見込む



参考資料1. 各地域の動向(ノボフェルム: 欧州)

事業別売上高推移



	2011年度
ドア・ドアフレーム	住宅向け市場の回復に加え、ドイツ販売組織再編の効果もあり、増収見込み ドア・ドアフレーム(ヒンジドア)事業は、商業用が横ばいであるが、住宅向けは回復基調。施工の容易さ、各国の防火性能に合わせた仕様の変更を行うことで、ドイツや東欧での販売拡大を図る。加えて、生産性の改善に取組み収益力を強化する
ガレージドア	住宅向け市場の回復に加え、ドイツ販売組織再編の効果、英国での販売拡大で、増収見込み ガレージドア市場は、ドイツを中心としたマクロ経済回復を受け、回復基調。新製品やWayneDalton製ドアの投入で、更なる販売拡大を図る
産業用ドア	市場は横ばいであるが、物流センター向け設備の売上が大きく伸長した他、その他の産業用ドアも積極的な受注施策が功を奏し、大幅増収見込み 産業用ドア市場は横ばい。商品の拡充による拡販と、生産面でのコスト・ダウンやメンテナンス体制の充実により収益力の強化を図る



参考資料2. 主要経営指標

主要経営指標の推移

主要経営指標(連結)		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	
		実績	実績	実績	実績	実績	期初予想	修正予想
売上高	(百万円)	336,277	323,445	272,970	232,029	237,295	250,400	245,500
営業利益 (のれん償却前)	(百万円)	18,575	15,887	8,070 (11,288)	5,624	4,562 (6,078)	10,000	9,000
純利益 (のれん等償却前)	(百万円)	11,227	8,227	2,312 (5,530)	-725	-2,443 (1,887)	4,500	4,000
売上高営業利益率 (のれん償却前)	(百万円)	5.5%	4.9%	3.0% (4.1%)	2.4%	1.9% (2.6%)	4.0%	3.7%
ROE: 純利益/純資産(期首・期末平均) (のれん等償却前)		7.4%	5.5%	2.3% (5.5%)	-0.8%	-2.7% (2.1%)	5.2%	4.5%
自己資本比率(期末)		47.5%	48.0%	41.3%	39.0%	39.3%	39.5%	39.6%
期末純資産	(百万円)	151,169	149,330	95,365	96,110	86,012	88,600	88,100
期末総資産	(百万円)	318,293	310,957	231,054	246,599	218,933	224,200	222,700
期末有利子負債	(百万円)	68,504	70,775	54,482	74,628	59,892	57,000	61,600
D/Eレシオ: 有利子負債/純資産	(倍)	0.45	0.47	0.57	0.78	0.70	0.64	0.70
SVA(Sanwa Value Added)	(百万円)	2,409	1,457	-820	-3,376	-2,697	-320	-1,160
EPS: 1株純利益 (のれん償却前)	(円)	44.4	33.4	9.6 (23.0)	-3.0	-10.2 (7.9)	18.7	16.6
発行済株式数(期中平均)	(千株)	253,028	245,972	240,956	240,336	240,321	240,307	240,307

(注) 1. SVAは当社独自方式のEVAの数値。 2. 2010年度の純利益(のれん等償却前)は、のれん償却と公取課徴金を除いたもの。

参考資料3. トピックス(財務)

1. 配当について

07年度		08年度		09年度		10年度		11年度	
中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末予想
6.5円	6.5円	6.5円	3.5円	0円	5円	4円	4円	4円	4円

◇11年度配当予想：8円(前年同額)

1株利益予想：16.6円

配当性向：48.2% (目安は30%)

2. 特損の状況

(百万円)

	09年度実績	10年度	11年度予想		
		実績	上期実績	通期予想	期初予想
固定資産処分損	▲3,152	▲44	▲24	▲50	▲300
投資有証売却損、評価損	▲400	▲269	▲223	▲223	0
年金改革費用	0	▲650	0	0	0
ODC事業再構築費用	▲370	0	0	0	0
ODC工場統廃合	0	▲580	▲170	▲495	▲330
ODC新型開閉機関連	0	0	▲17	▲264	▲420
NF事業再構築費用	▲750	▲248	▲100	▲193	▲330
買収関連費用	▲440	▲93	▲5	▲5	0
公取委課徴金	0	▲2,815	0	0	0
東日本大震災災害損失	0	▲304	0	0	0
その他	▲53	▲127	▲36	▲70	▲70
合計	▲5,165	▲5,130	▲575	▲1,300	▲1,450

参考資料3. トピックス

1. 国内子会社の間仕切事業・自動ドア事業を再編(2011年10月)

2011年10月、三和シャッター工業に、ベニックスと昭和建産の販売部門を統合した。三和シャッター工業の持つ全国的な販売網、施工力、ブランド力の強みと、ベニックス、昭和建産の専門性を融合させ、グループ全体最適化と多品種化を図る。



2. 園児用トイレブースが「キッズデザイン賞」を受賞(2011年7月)

三和シャッター工業の園児用トイレブース「ピーターパン／パンジー」が、第5回キッズデザイン賞(キッズセーフティ部門)を受賞。ドアに指をはさまない構造や安全に配慮したドア加工、握りやすいハンドルや操作しやすい錠前など、子どもたちの安全・安心・快適を守る視点が評価された。



3. フロント組込型LEDサイン「エコレダ」発売(2011年9月)

昭和フロントが、フロントの枠内にLEDサインを組み込んで、店舗や商業用施設のファサードやガラススクリーンを広告スペースとして活用したり、蛍光灯を使った看板に比べて省エネ効果をアップすることができるフロント組込型LEDサイン「エコレダ」を発売。



参考資料. 4 セクター別連結業績の概要

(百万円、千ドル、千ユーロ)

	2010年度						2011年度							
	第2四半期累計		第3・第4四半期合計		通期		第2四半期累計		第3・第4四半期合計(予想)		通期			
	(@91.02 @119.27)	前年 増減率		前年 増減率	(@87.32 @115.09)	前年 増減率	期初予想 (@83.00 @115.00)	(@81.78 @116.03)	前年 増減率		前年 増減率	期初予想 (@83.00 @115.00)	修正予想 (@80.00 @110.00)	前年 増減率
売上高 [前年為替適用]	110,609	(2.4%)	126,685	(2.2%)	237,295	(2.3%)	111,900	110,724	(0.1%)	134,775	(6.4%)	250,400	245,500	(3.5%)
三和シャッター工業	51,808	(△7.0%)	64,405	(△6.0%)	116,214	(△6.5%)	53,000	53,508	(3.3%)	71,991	(11.8%)	122,000	125,500	(8.0%)
その他国内子会社	10,319	(△14.5%)	13,649	(8.4%)	23,968	(△2.8%)	10,200	11,109	(7.7%)	12,290	(△10.0%)	24,000	23,400	(△2.4%)
ODC(米国)	\$366,062	(69.1%)	\$405,818	(58.3%)	\$771,881	(63.2%)	\$400,000	\$368,720	(0.7%)	\$435,279	(7.3%)	\$860,000	\$804,000	(4.2%)
ノボフェルム(欧州)	€ 148,235	(△12.9%)	€ 159,115	(△5.1%)	€ 307,351	(△9.0%)	€ 160,000	€ 163,019	(10.0%)	€ 176,980	(11.2%)	€ 340,000	€ 340,000	(10.6%)
	17,680	(△19.1%)	17,692	(△20.6%)	35,373	(△19.8%)	18,400	18,915	(7.0%)	18,484	(4.5%)	39,100	37,400	(5.7%)
営業利益 [前年為替適用]	368	(+)	4,193	(△32.3%)	4,562	(△18.9%)	1,600	1,236	(235.1%)	7,763	(85.1%)	10,000	9,000	(97.3%)
三和シャッター工業	425	(4,576.6%)	1,756	(△47.9%)	2,181	(△35.4%)	500	999	(134.7%)	3,800	(116.4%)	4,300	4,800	(120.0%)
その他国内子会社	△200	(-)	262	(△8.7%)	61	(△81.2%)	△95	△282	(-)	283	(8.0%)	445	1	(△98.4%)
ODC(米国)	\$10,511	(+)	\$21,824	(60.0%)	\$32,336	(373.2%)	\$14,000	\$4,161	(△60.4%)	\$33,838	(55.0%)	\$51,000	\$38,000	(17.5%)
ノボフェルム(欧州)	△€ 1,109	(+)	€ 6,419	(△23.4%)	€ 5,309	(△12.9%)	€ 400	△€ 122	(+)	€ 10,122	(57.7%)	€ 10,000	€ 10,000	(88.3%)
	△132	(+)	743	(△31.7%)	611	(△23.3%)	46	△14	(+)	1,114	(49.9%)	1,150	1,100	(80.0%)
経常利益 [前年為替適用]	88	(+)	3,944	(△29.3%)	4,033	(△16.5%)	1,500	1,058	(1,093.3%)	7,541	(91.2%)	9,700	8,600	(113.2%)
三和シャッター工業	638	(233.5%)	1,948	(△45.5%)	2,587	(△31.3%)	700	1,168	(83.0%)	4,001	(105.4%)	4,700	5,170	(99.8%)
その他国内子会社	△195	(-)	266	(△10.4%)	71	(△79.1%)	△100	△261	(-)	281	(5.6%)	435	20	(△71.8%)
ODC(米国)	\$9,406	(+)	\$22,820	(89.3%)	\$32,226	(587.8%)	\$13,000	\$3,757	(△60.1%)	\$33,242	(45.7%)	\$49,000	\$37,000	(14.8%)
ノボフェルム(欧州)	△€ 2,160	(+)	€ 4,805	(△23.4%)	€ 2,644	(11.4%)	△€ 600	△€ 1,484	(+)	€ 8,984	(87.0%)	€ 7,200	€ 7,500	(183.6%)
持分法適用会社投資損益	△80	(+)	13	(+)	△66	(+)	10	△49	(+)	△70	(-)	136	△120	(-)
当期純利益 [前年為替適用]	△3,419	(-)	976	(392.9%)	△2,443	(-)	200	144	(+)	3,855	(295.0%)	4,500	4,000	(+)
三和シャッター工業	△2,460	(-)	638	(418.7%)	△1,822	(-)	100	553	(+)	2,296	(259.9%)	2,200	2,850	(+)
その他国内子会社	△101	(-)	96	(△42.9%)	△5	(-)	△50	△193	(-)	143	(49.0%)	235	△50	(-)
ODC(米国)	\$4,223	(+)	\$12,315	(226.9%)	\$16,539	(+)	\$5,000	\$832	(△80.3%)	\$14,967	(21.5%)	\$26,000	\$15,800	(△4.5%)
ノボフェルム(欧州)	△€ 2,182	(+)	€ 1,859	(+)	△€ 322	(+)	△€ 700	△€ 1,623	(+)	€ 5,523	(197.1%)	€ 2,800	€ 3,900	(+)
持分法適用会社投資損益	△80	(+)	13	(+)	△66	(+)	10	△49	(+)	△70	(-)	136	△120	(-)

- 2011年度の[]内は、前年の為替換算レートを適用した場合の数値であります。
- 数値は切り捨て。()内は前年同期増減率、(+)は前年比増加、(-)は前年比減少。
- 在外子会社等にかかる為替換算レートは期中平均レートを使用しています。
- 上記には、三和ホールディングス及び連結相殺が表示されていないため、合計とは一致しません。

参考資料. 5 製品別受注高・売上高 (三和シャッター工業)

(百万円・%)

		2010年度 (H22年度)									2011年度 (H23年度)																					
		上 期			下 期			通 期			上 期 (実績)			下 期 (予想)			通 期 (予想)															
		受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比											
シャッター製品	軽 量	(0.2)	11,636	(0.9)	11,394	22.0	(△11.7)	10,115	(△11.9)	10,282	16.0	(△5.7)	21,752	(△5.6)	21,676	18.7	(4.5)	12,161	(3.2)	11,753	22.0	(18.1)	11,948	(16.5)	11,976	16.6	(10.8)	24,110	(9.5)	23,730	18.9	
	重 量	(△7.4)	8,653	(△12.5)	8,666	16.7	(3.0)	8,965	(△5.3)	11,557	17.9	(△2.4)	17,618	(△8.5)	20,224	17.4	(35.6)	11,735	(17.0)	10,141	19.0	(31.8)	11,814	(10.0)	12,708	(33.7)	23,550	(13.0)	22,850	18.2		
	小 計	(△3.2)	20,289	(△5.3)	20,061	38.7	(△5.3)	19,081	(△8.5)	21,839	33.9	(△4.3)	39,370	(△7.0)	41,901	36.1	(17.8)	23,897	(9.1)	21,895	40.9	(24.5)	23,762	(13.0)	24,684	(21.1)	47,660	(11.2)	46,580	37.1		
シャッター関連	O S D	(△2.1)	2,317	(△1.1)	2,172	4.2	(△6.0)	2,150	(△5.8)	2,442	3.8	(△4.0)	4,468	(△3.7)	4,614	4.0	(18.9)	2,755	(21.1)	2,631	4.9	(32.7)	2,854	(26.5)	3,088	(25.5)	5,610	(23.9)	5,720	4.6		
	そ の 他	(△5.6)	3,191	(△7.8)	2,975	5.7	(△2.0)	2,993	(△1.8)	3,817	5.9	(△3.9)	6,185	(△4.6)	6,793	5.8	(28.4)	4,318	(21.2)	3,609	6.7	(29.0)	3,781	(9.6)	3,770	(28.7)	8,100	(14.8)	7,380	5.9		
	小 計	(△5.6)	5,509	(△7.8)	5,148	9.9	(△2.0)	5,144	(△1.8)	6,259	9.7	(△2.3)	10,654	(△4.6)	11,408	9.8	(28.4)	7,074	(21.2)	6,241	11.7	(29.0)	6,635	(9.6)	6,858	(28.7)	13,710	(14.8)	13,100	10.4		
ドア製品	ビル・マンション	(△11.4)	16,189	(△11.4)	14,208	27.4	(△9.0)	15,557	(△2.9)	22,348	34.7	(△10.2)	31,746	(△6.4)	36,557	31.5	(22.2)	19,784	(0.7)	14,312	26.7	(38.6)	21,565	(9.3)	24,437	(30.2)	41,350	(6.0)	38,750	30.9		
	住 宅	(△14.4)	1,291	(△14.4)	1,290	2.5	(△30.3)	1,033	(△30.4)	1,032	1.6	(△22.3)	2,324	(△22.3)	2,322	2.0	(△17.5)	1,064	(△17.7)	1,062	2.0	(△14.4)	885	(△14.0)	887	(△16.1)	1,950	(△16.1)	1,950	1.6		
	小 計	(△11.6)	17,480	(△11.7)	15,498	29.9	(△10.7)	16,591	(△4.5)	23,381	36.3	(△11.2)	34,071	(△7.5)	38,880	33.5	(19.3)	20,849	(△0.8)	15,375	28.7	(35.3)	22,450	(8.3)	25,324	(27.1)	43,300	(4.7)	40,700	32.4		
窓製品	(4.5)	3,166	(4.8)	3,171	6.1	(△1.9)	3,103	(△1.3)	3,112	4.8	(1.2)	6,270	(1.7)	6,284	5.4	(△3.4)	3,059	(△4.1)	3,040	5.7	(△1.4)	3,060	(△3.3)	3,009	(△2.4)	6,120	(△3.7)	6,050	4.8			
エクステリア製品	(△9.9)	1,525	(△11.0)	1,480	2.9	(△7.0)	1,444	(△5.7)	1,491	2.3	(△8.5)	2,969	(△8.4)	2,971	2.6	(△0.6)	1,515	(1.0)	1,494	2.8	(5.6)	1,524	(2.3)	1,525	(2.4)	3,040	(1.6)	3,020	2.4			
その他の製品	間仕切製品	(△20.7)	2,179	(△10.9)	2,009	3.9	(△10.4)	2,123	(△11.8)	2,872	4.5	(△15.9)	4,303	(△11.4)	4,882	4.2	(22.5)	2,670	(5.9)	2,127	4.0	(122.7)	4,729	(60.9)	4,622	(72.0)	7,400	(38.3)	6,750	5.4		
	ステンレス製品	(0.0)	1,427	(9.3)	1,048	2.0	(25.4)	1,734	(7.2)	1,949	3.0	(12.5)	3,162	(7.9)	2,997	2.6	(21.2)	1,730	(21.9)	1,278	2.4	(4.3)	1,809	(14.0)	2,221	(11.9)	3,540	(16.7)	3,500	2.8		
	フロント製品	(11.4)	419	(27.5)	384	0.7	(5.3)	364	(8.0)	449	0.7	(8.5)	784	(16.2)	834	0.7	(2.0)	427	(△4.0)	369	0.7	(△36.3)	232	(△48.7)	230	(△15.8)	660	(△28.1)	600	0.5		
	そ の 他	(△6.8)	2,535	(△4.0)	3,005	5.8	(△10.3)	2,150	(△8.0)	3,049	4.7	(△8.5)	4,686	(△6.3)	6,054	5.2	(13.6)	2,627	(△15.3)	1,686	3.2	(60.3)	3,442	(27.2)	3,513	(36.6)	6,070	(8.7)	5,200	4.1		
	小 計	(△6.5)	6,563	(△7.0)	6,448	12.4	(△7.3)	6,373	(△6.0)	8,320	12.9	(△6.9)	12,937	(△6.5)	14,768	12.7	(17.1)	7,455	(3.3)	5,462	10.2	(30.7)	10,214	(11.8)	10,587	(23.7)	17,670	(8.0)	16,050	12.8		
合 計	(△6.5)	54,535	(△7.0)	51,808	100.0	(△7.3)	51,739	(△6.0)	64,405	100.0	(△6.9)	106,274	(△6.5)	116,214	100.0	(17.1)	63,852	(3.3)	53,508	100.0	(30.7)	67,647	(11.8)	71,991	(23.7)	131,500	(8.0)	125,500	100.0			
ビル建材部門	(△10.9)	29,954	(△12.2)	26,977	52.1	(△4.7)	28,723	(△4.5)	40,125	62.3	(△8.0)	58,677	(△7.7)	67,103	57.7	(25.3)	37,529	(5.8)	28,551	53.4	(42.3)	40,870	(12.8)	45,248	(33.6)	78,400	(10.0)	73,800	58.8			
店装建材部門	(△1.1)	9,551	(0.4)	9,282	17.9	(△12.8)	8,045	(△12.5)	8,428	13.1	(△6.8)	17,597	(△6.2)	17,711	15.2	(0.9)	9,633	(△1.2)	9,168	17.1	(12.7)	9,066	(7.1)	9,031	(6.3)	18,700	(2.8)	18,200	14.5			
住宅建材部門	(△4.5)	6,348	(△4.4)	6,283	12.1	(△11.4)	5,767	(△11.2)	5,821	9.0	(△7.9)	12,115	(△7.8)	12,105	10.4	(△7.7)	5,858	(△8.0)	5,782	10.8	(△2.2)	5,641	(△3.5)	5,617	(△5.1)	11,500	(△5.8)	11,400	9.1			
メンテ・サービス	(4.2)	7,904	(4.2)	7,904	15.3	(0.7)	8,730	(0.7)	8,730	13.6	(2.3)	16,635	(2.3)	16,635	14.3	(25.3)	9,904	(25.3)	9,904	18.5	(20.2)	10,495	(20.2)	10,495	(22.6)	20,400	(22.6)	20,400	16.3			
そ の 他		776		1,359	2.6		472		1,299	2.0		1,248		2,659	2.3		925		102	0.2		1,574		1,597		2,500		1,700	1.4			
		金 額			金 額			通期増減額			金 額			金 額			通期増減額															
手持残高		57,013			44,948			△8,520			54,139			50,800			5,853															
うち仕掛品		15,383			10,792			△848			16,148			11,600			807															

1. ()内は、前年増減率を示す。 2. 手持残高は、未発注・未仕入・仕掛品の合計で示す。

参考資料. 6 設備投資額と減価償却費(連結)

(百万円)

	2009年度		2010年度		2011年度(見通し)	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
設備投資額	2,146	3,894	1,314	3,495	972	3,984
三和シャッター工業	1,244	1,871	612	1,903	198	1,412
三和ホールディングス	29	142	34	71	41	207
ODC	95.98 (\$3,279) 314	93.72 (\$7,524) 705	91.02 (\$3,591) 326	87.32 (\$8,239) 719	81.78 (\$4,437) 362	80.00 (\$14,473) 1,157
Novoferm	128.33 (€4,180) 536	130.56 (€8,517) 1,112	119.27 (€2,685) 320	115.09 (€6,759) 777	116.03 (€2,882) 334	110.00 (€10,375) 1,141
国内連結子会社	20	62	19	23	33	65
減価償却費	2,405	4,825	3,424	6,578	2,631	5,589
三和シャッター工業	667	1,391	645	1,342	846	2,034
三和ホールディングス	302	606	285	573	271	544
ODC	(\$4,583) 439	(\$10,286) 964	(\$11,004) 1,001	(\$20,793) 1,815	(\$9,775) 799	(\$19,945) 1,595
Novoferm	(€6,605) 847	(€11,970) 1,562	(€5,508) 656	(€10,638) 1,224	(€4,979) 577	(€10,229) 1,125
国内連結子会社	62	127	53	108	50	104
のれん償却額	84	172	781	1,514	86	186
有形固定資産償却費	2,056	4,077	2,150	4,085	1,838	3,681
三和シャッター工業	526	1,097	413	855	351	731
三和ホールディングス	296	594	279	560	265	532
ODC	(\$4,258) 408	(\$9,351) 876	(\$9,222) 839	(\$17,271) 1,508	(\$8,029) 656	(\$16,473) 1,317
Novoferm	(€5,968) 765	(€10,651) 1,390	(€4,786) 570	(€9,245) 1,064	(€4,471) 518	(€9,129) 1,004
国内連結子会社	59	119	47	97	45	95
無形固定資産償却費	348	747	1,274	2,492	792	1,908
三和シャッター工業	141	294	232	486	494	1,303
三和ホールディングス	6	12	6	12	5	11
ODC	(\$324) 31	(\$934) 87	(\$1,782) 162	(\$3,521) 307	(\$1,746) 142	(\$3,472) 277
Novoferm	(€637) 81	(€1,319) 172	(€722) 86	(€1,392) 160	(€507) 58	(€1,100) 121
国内連結子会社	3	8	5	10	4	8
のれん償却額	84	172	781	1,514	86	186

参考資料. 7 2011年度ODC業績予想

(千ドル・%)

		2009年度		2010年度				2011年度							
		通 期		上 期		下 期		通 期		上期(実績)		下期(予想)		通期(予想)	
部門別売上高	ドア部門	(△17.8)		(127.8)		(94.8)		(109.3)		(△4.1)		(0.9)		(△1.5)	
		265,949	56.2	265,809	72.6	290,813	71.7	556,622	72.1	255,014	69.2	293,485	67.4	548,500	68.2
	開閉機部門	(△12.2)		(0.4)		(5.2)		(2.9)		(5.0)		(14.8)		(10.2)	
		133,651	28.3	64,006	17.5	73,537	18.1	137,543	17.8	67,179	18.2	84,420	19.4	151,600	18.9
	自動ドア部門	(△19.2)		(△9.4)		(11.6)		(1.1)		(33.6)		(30.4)		(31.8)	
		52,364	11.1	23,654	6.5	29,295	7.2	52,949	6.9	31,603	8.6	38,196	8.8	69,800	8.7
	車両部門	(△37.0)		(26.9)		(10.7)		(18.4)		(18.5)		(57.5)		(37.7)	
		20,921	4.4	12,593	3.4	12,172	3.0	24,766	3.2	14,923	4.0	19,176	4.4	34,100	4.2
売上高		(△17.6)		(69.1)		(58.3)		(63.2)		(0.7)		(7.3)		(4.2)	
		472,885	100.0	366,062	100.0	405,818	100.0	771,881	100.0	368,720	100.0	435,279	100.0	804,000	100.0
営業利益		(△68.6)		(+)		(60.0)		(373.2)		(△60.4)		(55.0)		(17.5)	
		6,833	1.4	10,511	2.9	21,824	5.4	32,336	4.2	4,161	1.1	33,838	7.8	38,000	4.7
経常利益		(△75.4)		(+)		(89.3)		(587.9)		(△60.1)		(45.7)		(14.8)	
		4,685	1.0	9,406	2.6	22,820	5.6	32,226	4.2	3,757	1.0	33,242	7.6	37,000	4.6
当期純利益		(-)		(+)		(226.9)		(+)		(△80.3)		(21.5)		(△4.5)	
		△ 2,495	△ 0.5	4,223	1.2	12,315	3.0	16,539	2.1	832	0.2	14,967	3.4	15,800	2.0
E B I T		(△74.4)		(+)		(83.6)		(502.9)		(△58.4)		(35.0)		(7.1)	
		5,460	1.2	9,853	2.7	23,067	5.7	32,920	4.3	4,096	1.1	31,151	7.2	35,248	4.4
E B I T D A		(△52.5)		(+)		(79.8)		(241.1)		(△33.5)		(25.8)		(2.8)	
		15,746	3.3	20,857	5.7	32,856	8.1	53,713	7.0	13,868	3.8	41,325	9.5	55,194	6.9

1.()内は前年増減率を示す。

2.EBITおよびEBITDAには、特別損益を含まない。

3. 2009年度下期のドア部門にWD社業績1ヶ月分を含む。

4. 2010年度よりWD社業績を含む。

参考資料. 8 2011年度NF業績予想

(千ユーロ、%)

		2009年度		2010年度						2011年度					
		通期		上期		下期		通期		上期(実績)		下期(予想)		通期(予想)	
所在地別	ドイツ	(△8.4)		(△14.7)		(△10.0)		(△12.3)		(7.6)		(10.7)		(9.2)	
		250,082	74.0	105,567	71.2	113,731	71.5	219,298	71.4	113,608	69.7	125,891	71.1	239,500	70.4
	フランス	(△10.9)		(△14.3)		(△10.0)		(△12.3)		(8.0)		(16.4)		(12.0)	
		79,259	23.5	36,046	24.3	33,482	21.0	69,528	22.6	38,939	23.9	38,961	22.0	77,900	22.9
	イタリア	(△12.4)		(△9.2)		(△12.3)		(△10.9)		(4.7)		(12.9)		(9.0)	
		21,517	6.4	9,198	6.2	9,984	6.3	19,182	6.2	9,628	5.9	11,272	6.4	20,900	6.1
	オランダ	(△12.4)		(△17.4)		(△2.7)		(△10.4)		(18.1)		(8.2)		(13.0)	
		58,101	17.2	25,264	17.0	26,767	16.8	52,031	16.9	29,830	18.3	28,970	16.4	58,800	17.3
売上高		(△10.8)		(△12.9)		(△5.1)		(△9.0)		(10.0)		(11.2)		(10.6)	
		337,892	100.0	148,236	100.0	159,115	100.0	307,351	100.0	163,019	100.0	176,980	100.0	340,000	100.0
営業利益		(△24.4)		(+)		(△23.3)		(△12.9)		(+)		(57.7)		(88.3)	
		6,099	1.8	△1,109	△0.7	6,419	4.0	5,309	1.7	△122	△0.1	10,122	5.7	10,000	2.9
経常利益		(△12.8)		(+)		(△23.4)		(11.4)		(+)		(87.0)		(183.6)	
		2,375	0.7	△2,160	△1.5	4,805	3.0	2,644	0.9	△1,484	△0.9	8,984	5.1	7,500	2.2
当期純利益		(-)		(+)		(+)		(+)		(+)		(197.0)		(+)	
		△3,734	△1.1	△2,182	△1.5	1,859	1.2	△322	△0.1	△1,623	△1.0	5,523	3.1	3,900	1.1
EBIT		(△16.6)		(+)		(△1.3)		(1.0)		(+)		(27.8)		(49.7)	
		7,275	2.2	△1,203	△0.8	8,548	5.4	7,345	2.4	71	0.0	10,928	6.2	11,000	3.2
EBITDA		(△11.0)		(△17.5)		(△2.5)		(△6.6)		(17.3)		(18.3)		(18.0)	
		19,245	5.7	4,305	2.9	13,677	8.6	17,983	5.9	5,050	3.1	16,178	9.1	21,229	6.2

1. IFRS基準で作成したものを日本基準に組替えて示す。
2. 所在地別売上高は各国所在各社の単純合算数値です。上段()は前年増減率を示す。
3. EBITおよびEBITDAには、特別損益を含まない。
4. 2010年度よりドイツ販売会社への各社売上高は相殺としてドイツ国内に含めて示す。